

JFM だより

vol. 26

INDEX

- 01 融資の実
- 05 がんばる公営競技
- 07 JFM Topics
- 15 自治体ファイナンスよもやま話
- 17 地方支援ダイアリー
- 19 金融ひとくちメモ
- 21 人事交流日記&ふるさと紹介
- 22 編集後記
- 23 機構からのお知らせ
- 23 私たちもJFM債買ってます!

[JFMとは、**J**apan **F**inance Organization for **M**unicipalities の略称です。]

Feature

東京都小平市 なかまちテラス



金融で地方財政を支え地域の未来を拓く



融資の実：機構の融資が、どのように活かされているかをご紹介します。

Feature 東京都小平市 なかまちテラス（仲町公民館・仲町図書館）

公民館と図書館が一体となった複合施設 人と情報が交わる空間づくりに取り組む

小平市のなかまちテラスは、「人と情報の出会いの場」というコンセプトのもと、

公民館と図書館の機能が一体となった生涯学習施設です。

オープンから3年が過ぎ、

小平市の新しいランドマークとして多くの市民に親しまれています。



なかまちテラス



▲ 建物外観



▲ 建物外観

- 東京都小平市なかまちテラス
- 所在地：東京都小平市仲町145
 - 竣工：平成26年10月
 - 敷地面積：993.77m²
 - 延床面積：361.94m²
 - 階数：地上3階、地下1階

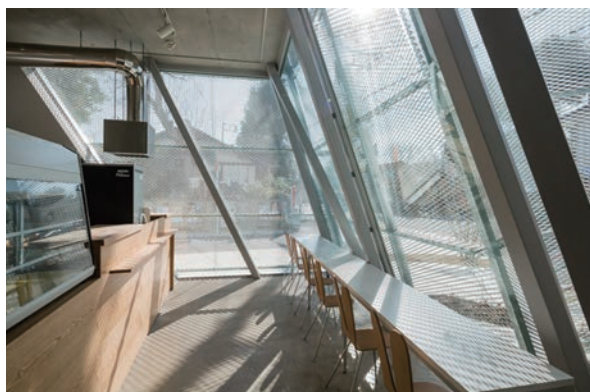


▲ 階段(カフェラウンジと図書館を繋ぐ)

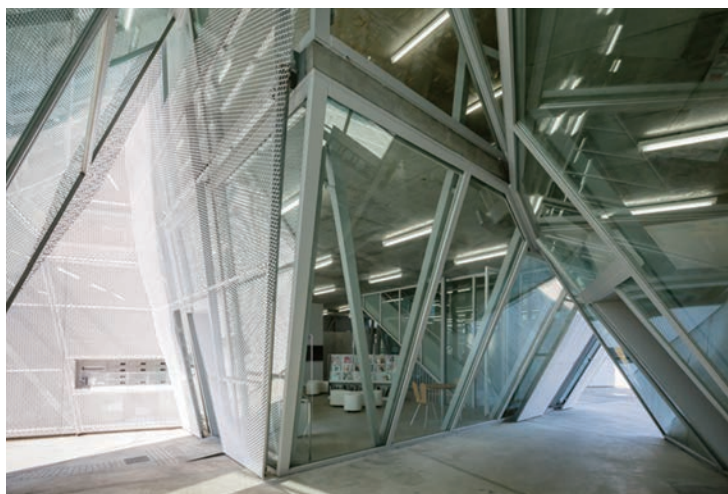


▲ 1F(公民館・カウンター)

大きな窓から差し込む太陽の光が柔らかく、
明るい雰囲気由来館者からも好評です

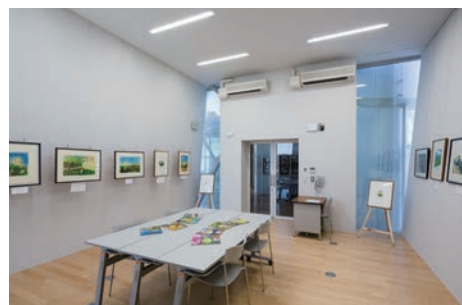


▲ 1F(カフェラウンジ)



▲ 通り抜け

1階の各部屋を結ぶ
通り抜けスペース。
1階はエントランス、
カフェラウンジ、学習室2、
学習室3の4部屋が、
離れ形式で配置されている。



▲ 1F(公民館・講座室)

市民と一緒にアイデアを出し合う

なかまちテラスは、東京都小平市の中心部、仲町に平成27年3月にオープンした生涯学習施設です。地域の方々の多様な活動が展開され、地域の学びとつながりづくりの拠点となることにより、生涯学習の振興と地域の活性化を進めていくことを目的としており、小平市立の仲町公民館と仲町図書館が一体化した複合施設となっています。

なかまちテラスは、旧仲町図書館があった敷地に建てられました。旧図書館および近隣にあった旧公民館の老朽化に伴う建替計画として、なかまちテラスの建設方針が策定されたのは平成22年のことです。平成25年に建設がスタートし、平成26年10月に建物が完成しました。小平市では、なかまちテラスの建設財源の一

部に地域活性化事業債を活用しています。

開館に先駆けて、平成26年8月には、なかまちテラスの利活用については、なかまちテラスの利活用について職員と地域の方々が共に考える「なかまちテラスLiNKsプロジェクト」が始動しました。開館に向けて事業アイデア等を出し合う未来づくりワークショップの開催、PRを目的にオリジナルキャラクターの制作や市内を走るコミュニティバスのラッピングデザインといった活動を実施しました。この市民協働によるプロジェクトは開館後も継続され、広報紙の発行や「なかまちテラスまつり」の開催など、多様な活動が展開されています。

世界的に著名な建築家が設計した建物

なかまちテラスを訪れてまず目をひくのは斬新な外観です。設計は世界的に著名な建築家である妹島和世氏

が手がけています。1階はエントランスを中心にカフェなど小さな建物が寄り添うようにデザインされ、地下と1階が主に公民館スペース、2・3階が主に図書館スペースという構成になっています。

「大きな窓から差し込む太陽の光が柔らかく、明るい雰囲気由来館者からも好評です。この建物を目当てに海外からの観光客も訪れるなど、小平市の観光資源としての役割も果たしています。」(小平市立仲町図書館・中山館長)

新しくなった仲町図書館では、所蔵する本などにICタグを貼付し、小平市の図書館としては初めてとなる、自動貸出システムを導入しました。また、出入り口にセキュリティゲートを設置し、なかまちテラスの中ならどこでも図書館の資料を持ち出せるようになっています。テラス内にあるカフェ



融資の実：機構の融資が、どのように活かされているかをご紹介します。



3階にある一般向けの
読書ラウンジ。
小さなボリュームが
一体となってきた
ワンルーム空間で、
各ボリュームの高さが異なり、
天井高が変わっている。

▲ 3F(図書館)



▲ 2F(図書館)

2階にある図書館の
ティーンズコーナーは、
床を少し下げるなど、
小さい建物の中で
いろいろな空間を
かたちづけている。



▲ 3F(図書館・屋外テラス)



▲ なかまちテラスまつり

で図書館の雑誌を読みながらくつろぐ来館者も多いそうです。テラスの入口近くには貸出ロッカーも設置され、予約した本を閉館後でも受け取ることができます。また、乳児・幼児などを対象としたおはなし会を毎週開催するなど、多くの地域の方々が集うことができるイベントを開催しています。

『なかまちテラスLiNKSプロジェクト』をはじめ地域の人たちとも一緒になってアイデアを出し合い、なかまちテラスの特徴を活かしたイベントを企画していきたいと考えています。](中山館長)

来館者も増加し、幅広い年齢層に

仲町公民館も新しくなり、設備も充実しています。1階には陶芸や調理などを行うことが可能な学習室が新設されました。ガラス張りの学習室で行われているサークル活動を見た来館者が新たに参加して来る等、新しい交流も生まれています。講演会などで音が聞きやすくなる「難聴者用磁気ループシステム」など、最新の機器も導入しています。

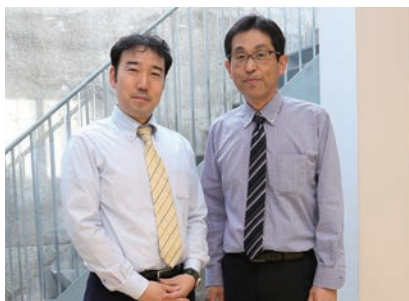
「新しい公民館になってから利用者が増加し、ホールや学習室の稼働率も

高まって、予約で一杯になる日も多くあります。シニアなど年配の方たちに加え、子育て中のお母さんや若い人たちも増えるなど利用者の層も幅広くなりました。](小平市立仲町公民館・中村館長)

公民館で行う講座で図書館の資料を紹介するなど、複合施設としての機能の活用にも力を入れています。なかまちテラスの運用では、公民館と図書館のスタッフが日頃から連携して知恵を出し合っています。

「毎年5月に実施している『なかまちテラスまつり』では、1年目に約5千人もの来館者がありました。市民の方々の注目度も高く、これからもさらに多くの人たちに来ていただけるようなきっかけづくりを行っていきたくと思っています。](中村館長)

開館から約3年経った平成30年2月には、トータル来館者数が50万人を突破したことを記念して、「なかまちテラス来館者50万人記念イベントウィーク」として交流会等が開催されました。小平市でもイベントなどの機会を通じて積極的に紹介しており、なかまちテラスは小平市の新しいランドマークになりつつあります。



▲小平市立仲町図書館・中山館長(左)
小平市立仲町公民館・中村館長(右)

これからもさらに多くの人たちに
来ていただけるようなきっかけづくりを
行っていきたくと思っています



ご当地紹介 東京都小平市

都市の利便性と郊外の静けさが同居する街

小平市は、東京の都心部から西へ約26kmに位置しています。ベッドタウンであるとともに、市内には緑地や農地も多く、都市の利便性と郊外の静けさを併せ持つ地域です。そんな特色に着目して、小平市では「プチ田舎」を商標登録しています。また、土地が平坦で山や川、海がないため、災害に強い街としても知られています。

小平市の恵まれた環境を象徴するのが「小平グリーンロード」です。古くからある玉川上水や野火止用水、狭山・境緑道などを結ぶ、小平市をぐるりと一周する全長約21kmの緑の散歩道であり、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」「新日本歩道紀行100選」に選ばれています。沿道には文化施設も多く、市民の散歩道として親しまれています。

市内には農地もあり、ウドや梨、ブルーベリーなどが特産品となっています。ブルーベリーについては、国内で最初に栽培された地域でもあります。また、市内には懐かしい郵便の丸ポストが36本あり、都内の自治体ではナンバーワンの保有数です。



▲ブルーベリー生果



▲丸ポスト

東京都小平市

人口:191,064人(平成30年4月1日現在)

世帯数:90,047世帯(平成30年4月1日現在)

面積:20.51km²

小平市